

福島消防団出初式祝辞（R8.1.4）

あらためまして、新年あけましておめでとうございます。

出初式が盛会裏に開催されますことを心からお祝い申し上げます。

ただ今、表彰されました団員の皆様、誠におめでとうございます。

健康に留意され今後とも益々ご活躍くださいますようお願い申し上げます。

団員・署員の皆様には、日頃から予消防活動に精励されております事に感謝の気持ちを込めまして敬意を表します。

全国的に地球温暖化が進行し、異常気象の局地的集中豪雨による洪水や土石流、竜巻の被害、地震も頻繁に発生、火災については、特に昨年2月に発生した岩手県大船渡市の山林火災が、3370ha、住宅226棟の被災で、平成以降最大規模となりましたし、11月には大分市佐賀関で住宅187棟が焼失、焼失面積48,900m²の大火災が発生しております。災害による高齢者の犠牲等が、毎日のように報道されており、災害対策に対する多くの課題が突きつけられていると思慮しております。

過疎・高齢化が進み、老々介護・独居世帯が増加する福島町としての新たな防災対策の作成作業が進められておりますが、不安を払拭することができない課題も多くあります。町づくりの基本である、「協働」、そして「自助」「互助」「公助」の認識をあらためて、徹底することも重要ですし、災害に備えて、町民個々、家族、町内会、職場、団体、組織として、何をしなければならないのか、何ができるのかを考慮し、全体的な調整・対応を行政が、しっかり誘導していくかなければなりません。

地域に根ざした消防団の活動は、町民の協働意識醸成の模範となるものであり、中村団長を中心にお一層活動に精励され、町民の皆様の期待に応えていただきますようお願いを申し上げます。

皆様にとりまして良い年になりますよう心からご祈念いたしまして、大変素地ですが祝辞とさせていただきます。

大変ご苦労様でした。 終わります。